

平成 27 年 10 月 13 日

担 当 課	教育政策課
担 当 者	小林 伸明 上岡 義貴
内線番号	4311・4312
直通電話	086-226-7568

お 知 ら せ

平成 27 年度岡山県教育関係功労者表彰式を行います

岡山県教育委員会表彰規則（昭和 36 年岡山県教育委員会規則第 11 号）に基づく表彰を次のとおり行いますのでお知らせします。

記

1 概要

本県教育の振興のために教育、学術及び文化に力を尽くし、その功績が顕著であって、他の模範となる個人又は団体を表彰するものです。

なお、昭和 26 年が第 1 回であり、本年度が第 66 回です。

2 受賞者

個人 519 人（うち永年勤続功労者 485 人）、2 団体、4 公立学校（園）

3 表彰式

(1) 日時 平成 27 年 10 月 30 日（金）13：30～14：30

(2) 場所 岡山県庁 3 階大会議室

(3) 備考 永年勤続功労者以外の功労者 34 人、2 団体、4 公立学校（園）に対して表彰を行います。

平成27年度岡山県教育関係功労者表彰 表彰者数一覧

区 分		平成27年度	平成26年度
		表彰者数	表彰者数
教育職員で特に功労のあった者		4	4
教育行政に功労のあった者		1	2
保健体育に功労のあったもの	個人	1	1
	団体	0	0
生涯学習及び社会教育に功労のあったもの	個人	1	1
	団体	1	1
文化に功労のあったもの	個人	1	1
	団体	1	1
特殊な業績をあげ功労のあった者		0	0
特に優れた教育活動を行いその業績が奨励に値する者	小	10	9
	中	8	8
	高	7	7
	特	1	2
公立学校で特に業績のあったもの		4	4
小 計		40	41
教育職員で永年勤続し功労のあった者			
・ 小学校教育職員		135	139
・ 中学校教育職員		94	78
・ 高等学校教育職員		132	169
・ 中等教育学校教育職員		1	1
・ 特別支援学校教育職員		47	62
・ 教育委員会事務局職員		39	29
小 計		448	478
学校医、学校歯科医及び薬剤師で永年勤続し功労のあった者		37	43
合 計		525	562

1 教育職員で特に功労のあった者

※年齢は、平成27年10月30日現在

	氏名	現職	表彰事由
1	いただに えいいちろう 板谷 英一郎 (59歳)	倉敷市立万寿 小学校長	昭和53年3月岡山大学卒業後、総社市総社小学校教諭、倉敷市第五福田小学校教諭、郷内小学校教諭、老松小学校教諭を歴任し、教育実践に努めた。 平成11年倉敷市教育委員会学校教育部学事課学事主任、学事主幹、課長補佐として学校教育の充実に尽力した。 平成16年倉敷市万寿小学校教頭として、校長をよく補佐し、円滑な学校運営に尽力した。 平成18年倉敷市教育委員会学校教育部次長、平成19年部長として教育行政の推進に尽力した。 平成21年倉敷市第一福田小学校長、平成24年万寿小学校長として優れた学校経営を行い、学校長として企画力、統率力、指導力を遺憾なく発揮し、豊かな心を持つ児童の育成に成果を上げた。 平成27年度から倉敷市小学校長会会長。
2	たかやなぎ かつひこ 高柳 克彦 (60歳)	岡山県立岡山 工業高等学校 長	昭和54年3月大阪大学卒業後、津山工業高等学校実習助手、水島工業高等学校教諭、津山工業高等学校教諭を歴任し、教育実践に努めた。 平成16年東岡山工業高等学校教頭、津山工業高等学校教頭として、校長をよく補佐し、円滑な学校運営に尽力した。 平成21年東岡山工業高等学校長、平成24年岡山工業高等学校長として優れた学校経営を行い、岡山県の工業教育の発展に成果を上げた。 平成27年度から県高等学校長協会副会長。
3	いまい やすよし 今井 康好 (59歳)	岡山県立津山 中学校・高等 学校長	昭和53年3月大阪大学卒業後、加茂川高等学校教諭、倉敷古城池高等学校教諭を歴任し、教育実践に努めた。 平成4年県教育庁指導課指導主事、学事課学事主査、教職員課学事主査、主査、学事主幹、課長補佐、総括副参事、指導課参事、教職員課参事、指導課長、教職員課長、教育次長として教育行政の推進に尽力した。 平成26年津山中学校・高等学校長として優れた学校経営を行い、豊富な経験に基づく判断力と強力なリーダーシップを発揮し、広く国際社会や地域社会に貢献する人材の育成に努めるなど、成果を上げた。 平成27年度から県高等学校長協会副会長。
4	おだ ゆきのぶ 小田 幸伸 (60歳)	岡山県立倉敷 まきび支援学 校長	昭和53年3月福岡教育大学卒業後、新見市思誠小学校教諭、成羽町成羽小学校教諭を歴任し、教育実践に努めた。 平成2年高梁教育事務所社会教育主事、県教育庁学事課学事主査、教職員課学事主査、主査、学事主幹、課長補佐、総括副参事、総括参事、岡山教育事務所次長、県教育庁指導課参事、倉敷教育事務所長、岡山教育事務所長、県教育庁教職員課長、教育次長、新設特別支援学校開設準備事務局長として教育行政の推進に尽力した。 平成26年倉敷まきび支援学校長として優れた学校経営を行い、一人ひとりの持てる力を高めるための適切な教育を行うことにより、自立し、社会参加できる児童生徒の育成に成果を上げた。 平成27年度から県特別支援学校長会会長。

2 教育行政に功労のあった者

※年齢は、平成27年10月30日現在

	氏名	現職	表彰事由
1	つしま まさあき 津島 雅章 (66歳)	吉備中央町教 育委員会 教育長	平成21年4月吉備中央町教育委員会教育長に就任し、在職6年7月の間に、町立図書館の新設や児童生徒の学力向上に向けた「きび学プロジェクト」の推進に取り組むなど、地域の教育の発展・充実に貢献した。 町内4中学校を1中学校に統合するにあたり、広く保護者、学校関係者の意見を反映させるなど、総合的な教育行政の推進に貢献した。

3 保健体育に功労のあったもの
(個人)

※年齢は、平成27年10月30日現在

	氏名	現職	表彰事由
1	もりさだ てるひろ 森定 照広 (51歳)	岡山県立倉敷中央高等学校教諭	昭和62年川上農業高等学校教諭、平成2年児島第一高等学校教諭、平成8年倉敷中央高等学校教諭として保健体育科の優れた教科指導を行うとともに、陸上競技部顧問として卓越した指導力を発揮し、全国高校総体等の優勝選手を輩出するなど成果を上げた。 特に、平成25年度は国体で走幅跳の優勝者、平成26年度は全国高校総体と国体で400メートル障害の優勝者を輩出するなど、本県の陸上競技部の競技力向上に大きく貢献した。

4 生涯学習及び社会教育に功労のあったもの
(個人)

※年齢は、平成27年10月30日現在

	氏名	現職	表彰事由
1	くまがい しんのすけ 熊谷 慎之輔 (44歳)	岡山大学大学院教育学研究科准教授	平成16年4月から岡山大学着任後、県社会教育委員の会議委員、おかやま子ども応援推進委員会アドバイザーとして、県内における地域の教育力の向上に貢献した。 県内各地の学校支援地域本部の活動に深く関わり、地域コーディネーター、学校支援ボランティア、行政関係者等へ指導・助言を行うなど、本県の社会教育の推進に大きく貢献した。

(団体)

	団体名	代表者名	表彰事由
1	認定NPO法人子ども劇場笠岡センター	理事長 宇野 均恵 <small>うの まさえ</small>	昭和62年に設立し、すべての人をとりまく生活・文化環境をより良くする活動を行い、子どもの豊かな成長と安心して生活できる地域社会の創出に成果を上げた。 体験活動事業や、就学前の子どもと親の会などの子育て支援事業、情報発信事業を幅広く行うとともに、県事業の「夢さがしの旅」に参画し、不登校の児童生徒の学校復帰に向けた支援を実施するなど、本県の社会教育の充実に貢献した。

5 文化に功労のあったもの
(個人)

※年齢は、平成27年10月30日現在

	氏名	現職	表彰事由
1	はだ よしお 波田 善夫 (67歳)	岡山理科大学学長	平成16年7月から、岡山県文化財保護審議会委員として、記念物・考古資料に関する第2部会に所属し、県指定重要文化財等の指定などに関して卓抜した知識により中心的な役割を果たした。 平成18年3月に「奥迫川の桜(岡山市南区)」が県指定重要文化財に指定されるなど多くの文化財を県指定重要文化財とするために尽力するなど、本県文化財保護行政に大きく貢献した。

(団体)

	団体名	代表者名	表彰事由
1	バンバ踊り保存会	会長 田中 正志 <small>たなか まさし</small>	バンバ踊り保存会は、昭和36年、久米南町で傳承されている雨乞い祈願の踊りの傳承・保存を目的に結成され、熟練した年配者の指導により、保存・繼承活動を展開した。 平成26年第56回中国・四国ブロック民俗芸能大会に岡山県代表として出演するなど、本県の伝統芸能の保存・繼承に大きく貢献した。

6 特に優れた教育活動を行いその業績が奨励に値する者

※年齢は、平成27年10月30日現在

	氏 名	現 職	表 彰 事 由
1	しらいし いさお 白石 勲生 (40歳)	岡山市立清輝 小学校 教諭	生徒指導主事として、高い危機管理意識と広い視野で学校全体に気を配り、温かく穏やかな人柄と生徒指導への適格で迅速な初期対応により、校内の生徒指導の要として尽力した。 常に児童や保護者に寄り添い、最後まで粘り強く関わる姿勢により、児童や保護者から厚い信頼を得ている。
2	みやけ みわ 三宅 美和 (44歳)	岡山市立牧石 小学校 教諭	学校経営力に秀でており、児童に確かな学力を身に付けさせるため、授業改善にも積極的に取り組み、学力向上に大きく貢献した。 研究主任として、工夫を凝らした校内研修を実践するなど、教員一人ひとりが力量を身に付けられるよう学校全体をリードし、同僚から厚い信頼を得ている。
3	いわり ひろし 岩 成 浩 (41歳)	倉敷市立万寿 小学校 教諭	研究主任として、全ての学級担任が様々な教科の授業力をつけることができるよう、7教科の研究部会を設置し、取組を進めるとともに、公開授業も率先して行うなど、学力の向上に貢献した。 県小学校教育研究会社会科部会研究副部長として、社会科の授業の研究実践に取り組むとともに、倉敷市社会科副読本作成委員として、副読本の作成に長年携わり、社会科教育の充実に貢献した。
4	うえの よしこ 上野 芳子 (48歳)	倉敷市立西阿 知小学校 養護教諭	県養護教諭小学校部会会長を務め、県の養護教諭の中核的な立場として、学校保健・健康教育の推進に大きく貢献した。 指定研究事業において、食育を中心とした児童の基本的な生活習慣の定着に向け、保健管理・保健教育を進め、児童の自己管理能力の向上に貢献した。
5	うえまつ のりこ 植松 典子 (41歳)	倉敷市立長尾 小学校 教諭	通常の学級に在籍する特別な支援を要する児童に対し、周りの児童の協力的な気持ちを育成することに努め、一人ひとりの個性を重視した指導により児童や保護者から厚い信頼を得ている。 学校の教育指導の重点「感謝する心を大切に優しく思いやりのある児童の育成」の実現に向け、ボランティアチームの結成や小さなありがとう紹介ビデオの作成などの取組により、校内至る所から感謝の言葉が聞こえるようになるなど、成果を上げた。
6	こんどう やすひこ 近藤 保彦 (47歳)	津山市立院庄 小学校 指導教諭	県の授業改革推進員として、市内の学校を訪問し、授業改善や校内指導体制への助言・指導を行い、校外においても指導的役割を果たすなど、学力向上に大きく貢献した。 研究主任、教務主任として、教材提示装置の効果的な活用を推進し、校内全体の授業改善を図り、授業改革に大きく貢献した。
7	しまだ かずのり 島田 和紀 (39歳)	高梁市立高梁 小学校 教諭	通級指導教室（ことばの通級指導教室）担当として、高梁市内の多くの児童を熱心に指導するとともに、保護者の不安や悩みに適切に対処し、児童や保護者から厚い信頼を得ている。 国立特別支援教育総合研究所に内地留学生として派遣され、吃音、構音に障害のある子どもの指導について研究を深め、その成果を校外に幅広く還元するなど、特別支援教育の充実に大きく貢献した。
8	はやせ なおこ 早瀬 尚子 (47歳)	備前市立日生 東小学校 指導教諭	指導教諭として、高い指導力を有し、積極的に公開授業を行うことにより、地域の学力向上に貢献した。 教務主任として、校内での中心的立場として学校経営を支えるとともに、後輩教員の指導を丁寧に行うなど、他の教職員の模範となっている。
9	こうさか きみかず 高坂 君一 (46歳)	赤磐市立山陽 北小学校 教諭	学級崩壊の状態にあった学年を立て直すなど、卓越した指導力と実践力で、学校運営に大きく貢献した。 児童の実態を丁寧に理解し、それに合わせた教材研究や指導方法の工夫などを行うことにより、児童や保護者から厚い信頼を得ている。
10	まつおか とおる 松岡 徹 (38歳)	真庭市立遷喬 小学校 教諭	理科の授業改革協力員や、C S T（コア・サイエンス・ティーチャー）として、継続的に授業改善を行うとともに、小学校理科ステップアップ研修会での授業公開やI C Tを活用した授業研究を積極的に行うなど、理科教育の充実に貢献した。 小中連携推進委員や研究主任として、校内はもとより中学校区内の学力向上にリーダーシップを発揮し、他の教職員の模範となっている。

11	がもう のぶひろ 蒲生 信博 (45歳)	岡山県立津山 中学校 教諭	授業改革協力員として、積極的な授業公開を通し、優良な授業実践を発信するなど、授業改革に尽力した。 研究主任として、校内において中心的役割を果たすとともに、科学の甲子園ジュニア全国大会では、岡山県選抜チームを率いて5位に入賞するなど、理科教育の充実に大きな成果を上げた。
12	はなふさ ともこ 花房 朋子 (44歳)	岡山市立足守 中学校 教諭	保健体育の教科指導では、教材研究に余念がなく、生徒が主体的に活動する雰囲気の良い授業を展開し、成果を上げるとともに、その卓越した指導力により、岡山市の若手教師フォローアップ研修や、10年経験者研修の講師を務めるなど、後輩教員の育成に大きく貢献した。 授業時間以外の時間に他教科の空き教室に入り、課題のある生徒へ温かい手立てを行うなど、生徒や保護者から厚い信頼を得ている。
13	かわはら だいすけ 河原 大輔 (37歳)	岡山市立石井 中学校 教諭	生徒指導主事として、細やかな気づきとともに粘り強く生徒に関わり、生徒から厚い信頼を得ている。 岡山市の生徒指導部会の事務局を務め、市の生徒指導のまとめ役として尽力した。 理科の教科指導では、ICTを活用した、生徒がより興味を持つ魅力ある授業実践を行い、「理教に挑戦」の実行委員も務めるなど、理科教育の充実に大きく貢献した。
14	さいとう ゆきこ 齋藤由紀子 (42歳)	倉敷市立水島 中学校 教諭	保健体育に関し、専門的知識と経験を生かした、生徒の関心・意欲を向上させる授業を実践し、成果を上げた。 学年主任として、学校全体を見渡し、熱心な指導で学校の活性化に日々尽力し、生徒や保護者から厚い信頼を得ている。 優れた感性で生徒の心に寄り添うとともに、掲示物や配付物にも工夫を凝らした学校経営を行うなど、生徒や保護者から厚い信頼を得ている。
15	たかはし ひろし 高橋 弘 (41歳)	倉敷市立真備 東中学校 教諭	生徒指導主事として、生徒指導体制の基本方針や問題行動に対する対処についてまとめ直し、全教職員が組織的・協力的に指導に当たることのできる体制づくりを行い、生徒指導の推進に尽力した。 入学後スムーズに中学校生活に適應できるよう、学区内小学校と協議するなど、小中連携の推進に尽力した。
16	いしはら ともり 石原 智則 (42歳)	津山市立北陵 中学校 教諭	研究主任として、年3回の授業研究会を行うなど授業改善の中心的役割を果たし、学力向上のための実践研究に尽力した。 小中連携担当者として、校区の4小学校に兼務し、各教科部会の繋ぎの役割を果たすなど、小中連携の推進に大きく貢献した。
17	いぬかい さち 犬飼 幸 (45歳)	赤磐市立桜が 丘中学校 指導教諭	県の授業改革推進員として、校内において積極的に授業改善を行うとともに、校外においても指導的役割を果たすなど、地域の授業力向上に貢献した。 CST(コア・サイエンス・ティーチャー)として、理科の授業内容の資質向上に努めるなど、理科教育の充実に大きく貢献した。
18	おおもり よしひろ 大森 祥弘 (41歳)	里庄町立里庄 中学校 教諭	学力向上担当として、学力向上の手引きを中心となって作成するとともに、町内の小学校へ算数の出前授業を行うなど、学力向上のための実践研究に尽力した。 独立行政法人教員研修センター主催の中堅職員研修で習得した知識を、学校運営に生かすなど、他の教職員の模範となっている。
19	しばた しげのり 柴田 茂徳 (45歳)	岡山県立岡山 操山高等学校 教諭	総合的ミドルリーダー研修で得た知識を積極的に還元し、学校経営方針の下、中核的な役割を果たすなど、他の教職員の模範となっている。 高教研数学部会数学教育等研究委員として、教科研究に意欲的に取り組み、県総合教育センター主催の高等学校数学研修講座の講師として、「数学的活動づくりを意識した実践発表」を行うなど、数学教育の充実に大きく貢献した。
20	ふるさわ しゅうじ 古澤氏由児 (48歳)	岡山県立瀬戸 南高等学校 教諭	農業の教科指導において、大学や研究機関等と連携し、生徒の学習意欲を向上させるなど、優れた指導力を発揮した。 環境に配慮したイチゴ栽培についてのプロジェクト学習を指導し、農業クラブの全国大会出場を果たすなど、成果を上げた。 生物生産科長として、農業高校の将来を見据えた建設的な提案を行うとともに、若手の教職員に助言するなど、他の教職員の模範となっている。

21	あつた みちる 熱田みちる (43歳)	岡山県立岡山南高等学校 教諭	地域との交流を通して「黄ニラ天ぷら」などの商品開発を行い、県下各地で生徒が販売することにより、地域の活性化に繋げるなど成果を上げた。 県総合教育センターでの5年経験者研修等の講師を務め、豊富な知識を積極的に還元し、後輩教員の育成に大きく貢献した。
22	みまき ともこ 三牧 知子 (46歳)	岡山県立津山商業高等学校 教諭	国語の教科指導において、工夫を凝らした授業実践により、国語教育の充実に貢献した。 教務課長として、学校経営予算「プレゼン枠」採択事業において中心的な役割を果たし、確かな学力の向上を目指し授業改善に努めるなど、他の教職員の模範となっている。
23	しばぐち かずゆき 柴口 一行 (45歳)	岡山県立笠岡工業高等学校 教諭	原動機を利用した乗り物の研究開発に取り組み、全日本高等学校ゼロハンカーレースへの出場を具体的な目標として掲げ、ものづくりに対する生徒の目的意識や、学ぶ意欲を育てるとともに、確かな技術の取得に大きな成果を上げた。 電子機械科長として専門学科の充実に取り組むとともに、管理職を補佐し、学校運営の一翼を担うなど、他の教職員の模範となっている。
24	せじま みほ 瀬島 美穂 (48歳)	岡山県立林野高等学校 指導教諭	生物の指導力に優れており、県総合教育センターでの5年経験者研修等の講師を務めるとともに、県高等学校教育課程研究協議会で授業実践を発表するなど、理科教育の充実に大きく貢献した。 指導教諭として、校内の授業改善に取り組み、若手の教職員に適切な指導を行うなど、他の教職員の模範となっている。
25	あんどう ゆうこ 安藤 裕子 (46歳)	倉敷市立精思高等学校 教諭	生徒の実態を把握し、個に応じた適切な支援が行えるよう、他の教職員に生徒一人ひとりの個別支援計画作成の指導助言を行うとともに、年4回生徒理解会議を主宰し、教職員による情報共有の機会確保に尽力し、同僚から厚い信頼を得ている。 家庭科の教科指導において、近隣の保育園児との交流や、生徒が主体的に考え、まとめ、発表する教育実践を展開した。 県総合教育センターでの初任者研修講座や、全国高等学校家庭科実践研究会の講師を務めるなど、家庭科教育の充実に大きく貢献した。
26	ふくだ かずみ 福田 和美 (47歳)	岡山県健康の森学園支援学校 教諭	高等部での作業学習において、生徒の実態に応じたきめ細やかな指導とともに、企業の助言等を取り入れるなど、石けんづくりの作業学習の改良に尽力し、作業学習の充実に成果を上げた。 県総合教育センター主催の研修講座において、作業学習の授業づくりについて実践発表を行うなど、知識の還元を行い、他の教職員の模範となった。

7 公立学校で特に業績のあったもの

	学校名	代表者名	表彰事由
1	岡山市立高島幼稚園	園長 小松原 玲子 こまつばら れいこ	心豊かでたくましい子どもの育成を目指し、「友達とつながり合う幼児を目指して」を研究主題として、教職員が一体となって研究と実践に取り組んだ。 園児同士の話し合いの場を積極的に設けることにより、園全体で集団の高まりやコミュニケーション力の高まりがみられ、相手の思いに気づくことのできる力の育成を実証し、研究発表会で、県内にその実践内容等を普及させるなど、幼児教育の充実に成果を上げた。
2	津山市立北小学校	校長 宮本 有二 みやもと ゆうじ	学校全体で授業改善や指導力向上を目指し、教職員が一体となって実践に取り組んだ。 北小「学習指導ハンドブック」を作成し、それに基づき、校内で統一した授業づくりや、自主学習ノートの指導、特別支援教育の視点を取り入れた学習環境づくりに取り組み、全国学力調査の平均正答率が大きく改善した。 保護者や地域ボランティア、地元の大学等との連携により、地域の教育力を積極的に取り入れ、学習意欲の向上と落ち着いた学習環境づくりに成果を上げた。
3	奈義町立奈義中学校	校長 赤木 美穂 あかき みほ	落ち着いた学校環境づくりに向けて、教職員が一体となって取り組んだ。 全校で、下駄箱の靴揃えやロッカーの整頓、無言での清掃など、他人への思いやりや我慢する気持ちを成長させる取組を実践するとともに、スマホの使用制限についてPTAと連携し、アンケート調査や集会の実施、ルールづくり等継続的に取り組んだ。 家庭学習の充実に向け、チャレンジカードの作成等、生徒が意欲的に家庭学習や補助学習に取り組めるよう研究を進めることにより、平均1時間以上勉強する生徒の割合が上昇するなど、成果を上げた。
4	岡山県立和気閑谷高等学校	校長 香山 真一 こうやま しんいち	アクティブラーニングを活用した授業力の向上、地域コミュニティに生かす道徳的实践力の向上を掲げ、様々な教育活動を実践した。 生徒参加型授業、協同学習をテーマとして授業改善を進めることにより、生徒の自主性や努力への意識の向上が見られ、他の学校の授業改善のモデルとなった。 全校集会においての論語の朗読や、生徒が論語について研究し、小中学生に対して出前授業を行うなど、論語の考えを中心に据えたことによる、落ち着いた学習環境の構築や、地域コミュニティの活性化に成果を上げた。